※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	器楽アンサンブル	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。また、基礎的な読譜の知識を身につけている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！～出会いのうた～	【歌唱】 校歌 ありがとう 島唄	a：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c：歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
	さまざまな楽器で演奏しよう	【器楽】 虹のかなたに	a：リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それぞれの楽器の良さを生かして表現を工夫している。 c：さまざまな楽器に関心をもち、楽器の持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
		【クラッピング】 クラッピングラプソディ	a：リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b：リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c：それぞれの楽器の持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子

※令和４年度以降入学生用

	～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 ペール・ギュント第１組曲 （グリーグ）	b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
２学期	英語の語感を生かして歌おう	【歌唱】 Yesterday once more	a: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、英語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b: 「Yesterday once more」のリズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 歌詞の意味、楽曲に関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
	ピアノで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 空も飛べるはず	a:弾き語りするために必要なピアノの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 c:コードの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子

※令和４年度以降入学生用

	日本の心を感じ取ろう　日本の民謡の特徴や	【鑑賞】 「民謡の特徴1」 「民謡の特徴2」	b: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c: 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート
	コード進行に合った旋律をつくろう！	【創作】コード進行に合わせた旋律を創作しよう	a: イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。 b どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: :イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
	さまざまな楽器で演奏しよう。	【器楽】 生徒が任意の曲・楽器を選択して演奏	a:アンサンブルするために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、表現している。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、アンサンブルを工夫している。 c:各楽器の基礎的な奏法を思い出し、友人と協力してアンサンブル演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
3学期	鑑賞のステップアップ　～声の魅力を探ろう～	【鑑賞】 ミュージカル「キャッツ」より「メモリー」「幸せの姿」「天上への旅」(アンドリュー・ロイド=ウェッバー)	b: 声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、ミュージカル「キャッツ」とその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、ミュージカルに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c: ミュージカルの特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子

※令和４年度以降入学生用

	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って合唱しよう。	【歌唱】 正解	a: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:旋律、リズム、ハーモニーなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想と文化的・作曲された背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子
	さまざまな楽器で器楽合奏をしよう。	【器楽】 情熱大陸	a: 曲想や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合奏するために必要な演奏の技能を身に付け、協力し合い創造的に表現している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:さまざまな種類の楽器に関心をもち、合奏をする学習に主体的に取り組もうとしている。	・演奏の聴取 ・提出プリント	・演奏の聴取 ・提出プリント	・振り返りシート ・実技練習の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度